

多重メディアによる町民寄り添い型情報発信（北海道安平町）

エリア放送とSNSという二種類のメディアで、
平時も災害発生時も町民に必要な情報を迅速・確実に伝達


エリア放送「あびらチャンネル」


➤ 北海道安平町では、常に町民に必要な情報を提供するため、二種類のメディアを活用。

(1) エリア放送(2015年開始、35の送信局を設置。)

(2) SNS(2017年開始、LINEやFacebookの公式アカウントを取得。)



 [安平町]Facebook

 [安平町]公式LINEアカウント

➤ 平時には子ども向けイベントや乳幼児検診といった行政情報を、災害発生時には給水や道路規制、ゴミ処理といった生活関連情報を常時配信。



【出典】 <https://www.facebook.com/town.abira/>



- ◆ 町民は、必要な情報を、自らに適した手段で即時に入手することが可能に。
- ◆ 北海道胆振東部地震においては、町民の地震に対する不安の解消に貢献。
- ◆ 町と町民との情報共有の進展が、町民への情報開示意識の向上につながり、結果として町と町民との意見交換が活発化。